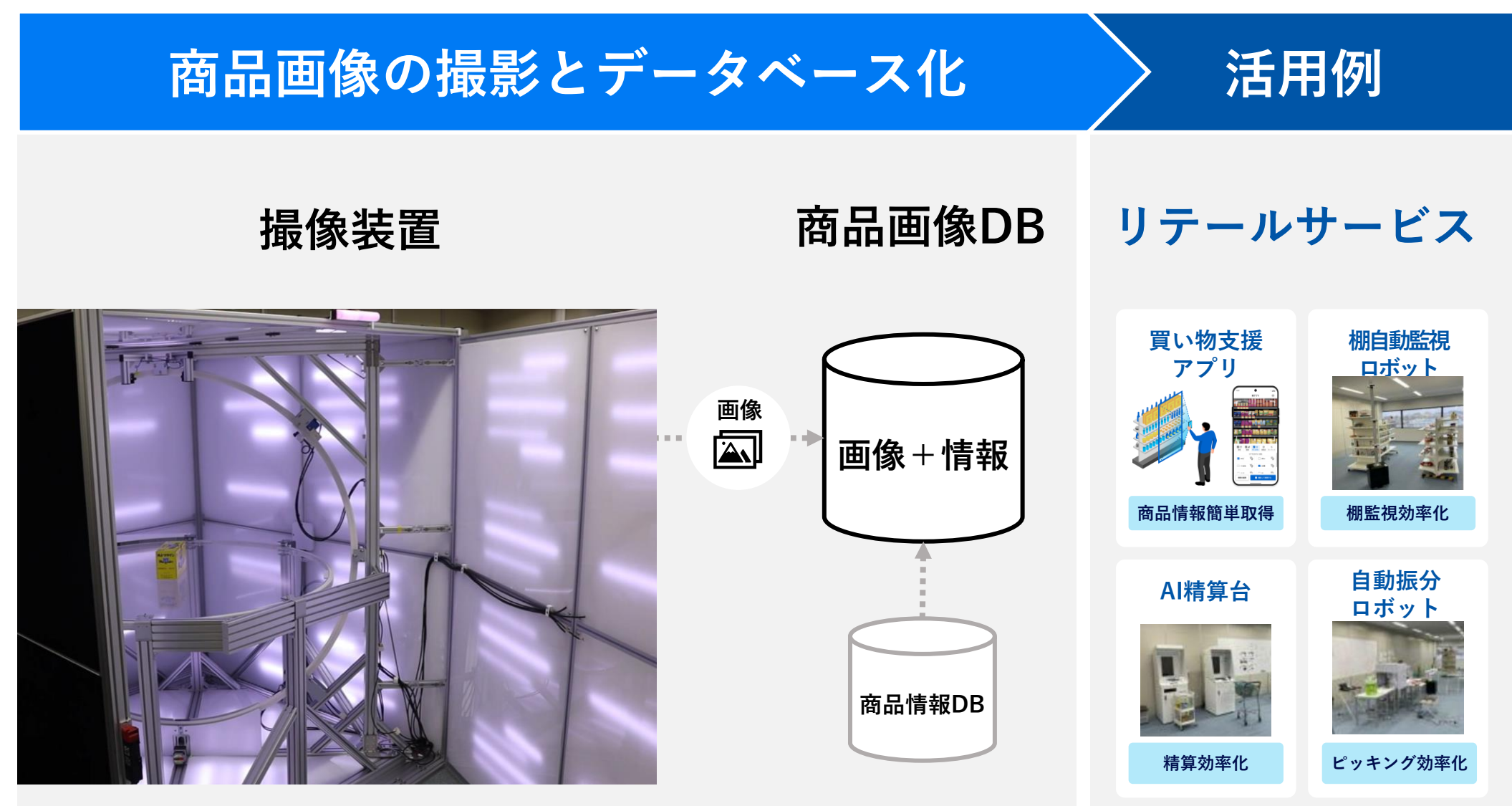


商品情報DB内の画像を効率的に行う自動撮像装置

商品情報DBの基盤構築と社会実装に向けた推進

目指す将来像



小売業界では省人化や業務効率化が求められる中、ロボットやAIの進展により、それらを支える商品情報DBの構築が急務となっています。私たちは、効率的に画像を取得する自動撮像装置を開発し、従来の手動撮影から解放することで、大幅な時間と労力の節約を実現します。さらに、商品情報DBを基盤に商品画像を活用した付加価値サービスの社会実装を提案します。

ここが凄い!!

Before



After



商品画像の撮影や対象商品の切り抜き作業は手動で行われていたため、多くの工数がかかっていました。結果、商品画像を一部の人しか画像を扱えない、画像の管理が業界として整備されていない等の問題を抱えており、商品画像を使った様々なサービスを展開できませんでした。ロボットやAIのニーズが高まる中、作業負荷がさらに増加することが予想されています。

商品画像の撮影を自動化することで大幅な省人化を達成。1商品につき数百枚の商品画像を撮影することで商品画像認識や3Dデータ生成が可能となります。この画像を商品画像DB化することで、商品画像を活用した様々なソリューションに展開可能となりました。これにより画像品質を一定にしたり、店舗での商品検索、精算、ロボットによるピッキングなど新しいサービスの社会実装に向けた研究へと繋がっています。